



# くぬぎだより

第2号

平成25年8月発行  
くぬぎの木  
特別養護老人ホーム



野菜博士と夏野菜の収穫  
竹谷2丁目にて  
2013/06/28

特別養護老人ホームが本格稼働して無事に1年あまりの月日が経つことができました。これも関係各位のご努力、多くの方のご支援の賜物と深く心より感謝申し上げます。「くぬぎだより」の巻頭言として個人的体験を披露し、くぬぎのこれから目指す姿に対する思いをお示ししたいと思います。「誰の心の中にも仏が宿る」この言葉に私は救われました。ある日の医療関係者の会合でのこと、信頼すべき人たち同士が不信感をあらわにして互いに相手の悪意を言い募っている。どちらかの立場に立って賛意を述べればその反対側にいる人を信じるに値しない存在におしやってしまう。話をしている本人に対する信頼感とは自分の中では、ゆるぎないもの、その口で語られている人に対しても同様の信頼を抱いているはず。私は、話を聞きながら、その是非の判断を保留にした。そして数日間、自分の心の中で解決策を模索した。語られている事柄はその人の一部にすぎない。語っている人の心は、その人すべてではない。それぞれに志をもち、誠意をもって事柄に取り組んでいる。信頼せずしてどうする。堂々巡りする頭の中に冒頭の言葉が下りてきた。そして、それぞれの心に宿る仏心だけを自分の判断材料にしようと心に決めた。その決意を日々自分に言い聞かせているうちに、徐々に自分の中で頭をもたげかけた不信感、いらだちが消えていくのを感じた。介護の現場や終末期の医療現場では、年齢を重ねて、体と記憶や理解が不自由になり、寝たきりになられる姿を日々見せていただいています。その中で見事なまでに余分なものがそぎ落とされ、仏心だけが残っているとかわる方に出会うことがあります。どんどん狭くなっていく世界の中で、数少ない、発する言葉は「ありがとう。」言葉も発することができないが、表情は豊かで、はじけるような笑顔。思わず心の中で両手を合わせ拝んでしまいます。こんなにも明らかに仏心が見えてくることは多くありません。しかしながら、「誰の心の中にも仏心は宿っている」のです。その心がわかる、より感度のいいセンサーを身に着けたいものです。

くぬぎの木が、いわゆる仏心すなわち、悪意や妬みがなくお互いに思いやりを持って、信頼し合える心があふれる空間になってほしいなと思っています。

平成25年7月 理事長 加藤 尚久



### うわっ～!!

テラス菜園のトマトが赤くなりました。毎日テラスへ出ると大きくなっている野菜たち。この時期は入居者さんも職員も毎日「うわっ～!!」の連続です。



### ごはんより・・・

夕食時、食事にはなかなか箸がすすみませんが、隣にあった新聞にはよく手が伸び、新聞に夢中でした。『アベノミクス…』



### 今日はね・・・

娘さんとかっぱ寿司へ。「今日はね、1時間も遅く起きたの。でも、お寿司やでようけ食べられるわ。」と、5皿ペロッと食べられました。普段お聞きしたことのないお話を聞くことができました。



### あんたもよばれなっ!

お昼も終わり、リビングにて一眼中…隣同士に座り、この笑顔。おやつを二人分お出しすると「あんたもよばれな」と。この後は、お二人で手を取り合い「あんたの手、ぬきたいな～」などとお話して見え、何とも微笑ましい光景でした。



### ええとこやろ?

夕方になるとソファーに座り、竹林を眺め日向にあたるのだとか…入居者さんが腰かけている姿を見て職員も隣にお邪魔しました。「ここええとこやろ?」おススメの場所です。



### いただきました!!

ソラマメをいただき、入居者さんと皮むきを…。皮むき中にもかかわらず、この笑顔!! 皆さんとおいしくいただきました。



### どうかな?

たくさんのお花を持ち帰ると、「うわ～、こんなにようけ」と笑顔に。お花を生けて頂くようお願いすると、ずっと手が伸び、「こんなんでもうかな?」と。玄関を飾る素敵な花飾りが出来ました。



### おっ!きたきた

日頃は、「左手がしびれるんやわ…。なんでやろ?」とぼやいている入居者さんとかっぱ寿司へ。左手のしびれはどこへやら。腕を伸ばし、お寿司を取ってみえました。「あ～、お腹いっぱい。」と大満足でした。



### 収穫しました!!

ミニトマト、ゴーヤ、なす…ボールいっぱい収穫しました。収穫した後は、皆さんでトマトの試食…「皮が硬いな!」と。入居者さんの手によりなすは炒め物に、ゴーヤは和え物にして頂きました。



### 気持ちいいですか?

夕方のひと時、入居者さんの手浴を。入浴剤のいい香りが部屋中に漂い、手も温まります。職員の「気持ちいいですか?」の声掛けに入居者さんもニコリ。



### お久しぶりです

自分が営んでいた美容院へ。「どうも、こんにちは。」飾ってあった福助にご挨拶。お店の掃除や片付けをして、懐かしい思い出がよみがえりました。



### 大サービスや!!

調理員さんとの昼食作り。「よ～け入れとくでな!!」と海苔をたくさんおせてくれました。おいしい茶そばご馳走様でした。



### いちにのさん ハイ♪

ピアノに合わせて指揮をしてくれる入居者さん。毎回その場を盛り上げてくれます。この日も『あ～おい山脈♪』とみなさんの生き活きとした声が響いていました。



### 満 開

娘さんと『五百羅漢』へお出掛け。満開の藤をじっくりと見ていました。帰りには、ペットショップへ寄り道。ワンちゃんに「また来るね」と名残惜しそうにしていました。



# 暮らしの1ページ



## ～夏の特大号～



### ほっ、ほっ、ほ～たる来い!!

そばを流れる『竹谷川』へ今年も皆さんで蛍狩りに行きました。蛍を見つけると「あっ、あれあれ」、「光った～」と大興奮。初夏の楽しいひと時となりました。



### これ採りましょか…

畑の野菜が、次々に大きくなってきました。食べ頃のナスを収穫。みそ汁や炒めものにしていただきました。収穫する喜びや食べる喜びを皆さんで味わいました。



### 落ち着くニャ～

スタッフが子猫を連れてきてくれました。初めての場所にウロウロする子猫ちゃん。ようやく落ち着いた場所は、101歳のおばあちゃんのお隣でした。



### やったあ～!!

ユニット調理で『かつ丼』をリクエスト。トンカツの揚がる音や出汁のいい香りに待ちきれない様子の皆さん…。そして、好物を目の前にこの笑顔!!

### 今日のお昼は…

好きな食べ物ありますか？  
と伺うと、「焼きそばが食べたいの」と話されました。長年大阪で過ごされていた為か、焼きそばやたこ焼きなど“粉もん”には目がないそうです。



### 我が家のおひつ

入居者さんが昔使っていたおひつを持ってきて頂きました。「もうちょぼっと頂戴ね」と好きな分だけご飯をよそいます。おひつを見て「何升入るの？」「家も使ってたわ」など、話に花が咲きました。



### 娘さんとお散歩

久しぶりに外の空気、景色を娘さんと一緒に楽しめました。「よかったね、お母さん。またお外の空気吸えたね。」と娘さんが優しく声をかけられました。



### 99歳のお手紙

「字なんて久しぶりに書くわ。上手いこと書けるやろか」と娘さん宛てのはがきに名前を書きます。「稽古してから書くから待ってね」と下書きし、いざ本番！！「ちゃんと届くといいな」とはにかみ、鉛筆を置きました。



### 大きな柿の木

お家の畑へ行きました。長年通った懐かしい畑です。「なんにもないなあ～」と話していたところ、ご親戚とバッタリ再会。「遠から会わんだなあ」とお話しし、「また帰ってくるわ」と約束しました。



### ポカポカ陽気に誘われて

外へ行きませんか？とお誘いし、バルコニーに出て日向ぼっこをしながらの足湯。太陽の光を浴びて体はポカポカ…心地良い暖かさに、段々とまぶたが閉じていきます。



### どちらにしようか…

買い物へ出かけました。何を買おうか迷っていたところ、ところてんの前で足を止められました。味はさっぱりと三杯酢にしようか、甘い黒蜜にしようか迷っちゃいます。



### 新築物件？

「あれ、あそこに子がおるわ」と、玄関の屋根にできたツバメの巣を眺めています。ツバメがビックリしないように、少し離れた所からそっと見守ります。



### 絶好の掃除日和

職員と共に、部屋の掃除をします。じゅうたん叩きに「よいしょのしょ」と掛け声。陽射しが照り付け、「あつついな」とタオルを頭に巻きました。「ほんでも私、よおやっとなるやろ」と微笑みました。



### 自分の部屋はしょかいな

ダスキンを片手にテレビの前を掃除します。職員が掃除機をかける間に、雑巾がけも済まされていました。掃除はお手の物ですね～。



# 暮らしの彩りプラン

くぬぎの木では、ご入居者のこれまでの生活に密着した外出支援を行っています。お買い物へ行ったり、ランチを食べに行ったり…と、日々の暮らしの中で、外出は欠かせないものです。外出は「その人らしさ」や「暮らしぶり」を知ることができ、生活に潤いをもたらす大切な行為なのです。個々に応じ、ご入居者がこれまで築き上げた家族、地域との関係を絶やさず、暮らしで頂けるよう支援していきたいと考えています。

そこで今号では、お誕生日に里帰り&姉妹との再会を果たしたご入居者を紹介させて頂きたいと思います。

お誕生日を間近に控え、ご入居者・ご家族と相談し自宅へ里帰り計画を立てました。自宅にて息子さん、お嫁さん、お孫さん、曾孫さんら4世代で87歳のお誕生日をお祝いしました。久々に味わうお嫁さんの料理を息子さんに食べさせてもらおうと、思わず笑みがこぼれました。「あんたも食べな…」と母の顔で、息子さん方を気遣われていたのが印象的でした。



ここからは、ご入居者へのサプライズプレゼントです。施設へ入所しているお姉さんに数年振りに再会するのです。「どんな方なのか」「ご入居者の反応はどうか」と同行する職員はワクワクしつつも、ちょっぴり緊張していました。

お部屋に入りお姉さんと顔を合わせた瞬間、パッと表情が明るくなりました。お姉さんはご入居者の名前を呼ばれ、涙されていました。それからしっかりと手を握り、昔の写真を眺めながら懐かしそうに、旅行の思い出を回想されました。



時間はあっという間に過ぎ…「近くやったらまた行くわ」、「また来ます」と次の約束をしました。

笑顔のご入居者、涙するお姉さん。お二人の姿や言葉、温かくそっと見守るご家族の姿に、思わずウルッとしてしまいました。今回のお誕生日計画において、お忙しい中相談に乗ってくださり、ご無理を受け入れて下さったご家族の皆様、本当にありがとうございました！心よりお礼申し上げます。



## しつらえ

### 昔懐かしコーナー

大正・昭和時代にタイムスリップ!!

「昔、こんなタンス使っていた…」「こんなモンペ穿いていた…」とその時代、昔、若かりし頃を思い出しますね。皆様のお宅で時代を感じる、懐かしいものなどがございましたら、お知らせください。



1階玄関横にあります

### 1階玄関に作品展示コーナーができました

せせらぎデイサービスでのものづくり活動や、趣味を活かしたクラブ活動で作った作品を展示しています。



ペットボトルのキャップで作った針山

## 喫茶

2階喫茶スペースは、喫茶店やうどん屋、居酒屋など非日常的な雰囲気味わって頂ける空間となっております。また、趣味や交流の場としても利用して頂いております。随時、趣味などを教えて頂ける方を募集しています!!



## 新職員紹介

デイサービスせせらぎ



わたなべ 渡辺 ころへい 浩平

竹谷2丁目



(上) きなだ 真田 しの 梓乃 (下) なかがみ 中神 けいこ 恵子

竹谷3丁目



みなみがわ 南川 たかし 貴志



かとう 加藤 みよ 美代

## 厨房より

私達厨房では、調理員が月に1度のペースでユニットにお邪魔してご飯を作っています。ご入居者の食べたい物と一緒に作りたい物をお聞きしながらメニューに取り入れています。この日は天ぷらと鮭寿司でしたが、作り始めると匂いや音、料理する姿に誘われたのか皆さん続々と集ってみえ、野菜を切ったり、酢飯を合わせてもらったり目の前で揚げたての天ぷらを召し上がって頂きました。温かい物は温かく当たり前のことのようにですが、それだけでとても美味しく感じますよね。

「美味しかったわ。ようけよばれたわ。ありがとう！」と声をかけて頂き、「もう満腹！」と良い顔をされているのを見るととても嬉しくやりがいを感じます。まだまだ始めたばかりですが、皆さんに楽しみにされる、笑顔になれる食事を真心込めて作っていきたいと思っております。



## 医務室より

私達も家族の一員として、会話をしたり、時には一緒にお皿を拭いたりして、傍に寄り添う中で、体調や気分の変化に気づけるよう心がけています。主治医の加藤先生とも健康状態について連絡をとり、ご入居者が健康で快適な生活が送れるように、室温調節・水分補給などにも気を付けています。



## デイサービス

～ 春の外出 ～

### せせらぎ



せせらぎでは、日頃のリハビリの評価を兼ねて、年2回外出リハビリを行っています。今回は1日をかけて、九華公園（鎮国神社～六華苑）を散策・見学してきました。

### さくら



けやきの足湯にて

北勢中央公園にて

天候に恵まれ、どなたも笑顔いっぱいでした。

## お世話になった皆様

(平成25年2月～8月)

コーラス	マリアの丘様
POLA化粧品	代表 浜條 美和様
清掃・除草	県地区長寿会様
花の苗植え	池田 信愛様
ピアノ演奏	井上 裕美様



## 施設長のつぶやき

～第1回～

やわやわ

『柔柔とな』

最近、私があるご入居者にかけて頂いたことばを紹介します。「あんたはえらいなあ。無理せんといて。やわやわとな。」やわやわと？ 調べると「物腰のやわらかなさま。しなやかなさま。」と書かれていました。自分にご入居者にどこか無理して頑張っている（現代風に言うと尖っている？）ように見えたのかなと、少し反省しました。「柔柔とな」素敵なことばですね。 ☺

ポスト委員より

第1号の発行から、あっという間に半年が経ちました。今号は前回よりもはるかに暮らしの様子がつまった号に仕上がりました。今後も皆様に楽しみにして頂けるお便りを作っていきたいと考えております。ご意見などございましたらお聞かせください。

市川 山中 川田 山本 二井 真田



URL <http://www.kunuginoki.jp>

〒512-1204 四日市市赤水町 1245-7

特別養護老人ホーム - 6 -

TEL:059-327-2826 FAX:059-327-1177